

箱根組ニュース

第288号 2016年 11月号

編集発行人 戸丸悟

箱根組は自然を大切にします！
各自保険に入って山に登りましょう！

寄居の風布みかん山でみかん狩り初体験、風布川沿いの「風の道歩道」に風は吹かなかった。

10月22日(土)、東武池袋駅7時45分発急行小川町行きに乗車。

小川町で8時56分発の寄居行きに乗り換え、寄居で秩父鉄道の三峰口行きに乗車。波久礼駅に9時26分着。

降り立ったのは太田、星野(幸)、星野、和田、及川、奥村、神山、菊池、神吉、戸丸の10名。

駅前にはたくさんの子供たちがいる。どうやら地元の子供たちが授業の一環かなにかでみかん狩り付のお勉強ハイキングのようだ。後でわかったのは9グループで大人も入れると100人以上の団体だ。「〇〇少年団」などのノボリも見える。ほとんど目的地まで一緒に行動だった。駅前にいたリーダーらしき人にみかん狩りの情報を聞くと、まだ正式に開始していないとの事で25日オープンらしい。子供たちは農家に予約して開始前にみかん狩りを体験させてもらうらしい。それでもどこかで出来るのかすかな期待をしていた。

寄居長瀬観光地図という大きな看板

の下にはコスモスが咲いていた。看板には風布川沿いに小林みかん、風布ミカン、沢ガニなどと書いてある。

体操をして、9時47分、出発。駅前を左に進み。「長瀬カントリークラブ右」の看板の信号を渡り寄居橋を越える。

9時55分、突き当りの信号を左に曲がる。左側の民家に大きな柑橘系の実が沢山なっている。ご主人に聞くと鬼柚子とか、帰りにも寄ったら一つ上げようかと言われ和田さんがもらって帰った。

その先の農家では庭先にいろんなものが育てられていて珍しいホップの実(花?)も見られた。道は右にカーブしてゆく。

10時5分、左側に川沿いに下りてゆく。「風の道遊歩道」の看板がある。すぐに小さな滝がある。夫婦滝とあるが一本は小さくて夫婦にしては頼りない。しかし滝壺が澄んでいて周囲の景色はなかなか風情がある。いったん住宅地の舗装路に出る。ムラサキシキブが紫と白の二種類実を付けていた。右方向に曲がっ



てゆくと高柿新橋の手前に「風のみち歩道入り口」の看板があり、10時13分、これに従って左に入ってゆく。「熊の目撃情報あり」の看板がある。

まずは、すぐに丸木の階段状の道。そして下ると穏やかな歩きやすい樹林の中の山道だ。風は全くない。そしてまた階段状の道。きれいな風布川が右側を流れている。岩と木々の美しい川だ。

10時32分、右側対岸に一本の木が現れる。看板があり「さいかちの木」と書いてある。生薬や洗剤としても古くから利用されているらしい。

すぐ先左側には炭窯跡の看板がある。なぜかビニール袋に入った炭も置いてある。木の板を張った橋を渡る。ショウガのような葉っぱにまっすぐ上に向かって紫の実をたくさんつけているのが何かと思ったら、ヤブミョウガだった。ネットとヤブショウガとも出てくるが、ショウガ科の茗荷とは別の植物との事。葉っぱがショウガや茗荷によく似ている。

現在の収支	
繰越収入	29365 円
	0 円
支出	
印刷費	1000 円
コピー代	400 円
現在高	27965 円

切手残数
82円
切手
132枚

10時37分、「松葉飛び石」、川を石を使ってわたってゆく。ちよつと楽しい。これで右岸から左岸に渡ったことになる。いったん広い道路に出てまた右側の山道に入ってゆく。仮設トイレを過ぎると東屋の近くで親子連れが沢で遊んでいる。「カニ取れましたか」と聞くと何匹か取れたとの事、楽しそうだ。

10時42分、右に「小林山ミカン園」入口の看板を通過。すぐに夫婦橋を渡る。ただの二つの板の橋だった。少し急な階段状の道を登る。

10時50分、右に大きな岩が現れる。なぜか「天狗岩」という名前。すぐに左の「木の橋を渡ってまた右岸になる。沢の水がきれいだ。

10時54分、「天狗飛び石」を渡りまた左岸に。沢沿いぎりぎりに歩くのは面白い。

10時59分、「沸飛石」(ふつとび)と読むらしい。また左に(右岸に)渡り返す。11時12分、もう一度川

11月20日(日) 奥多摩の高水三山です。

レギュラーコース 歩行約4時間

青梅線軍畑駅から、高水山、岩茸石山、惣岳山と歩き、御嶽駅に下ります。

※トン汁を作る予定です。

○持ち物 昼食、飲料水、非常食、ポットにお湯、食器、カップ、雨具、傘、スパッツ、タオル、着替え、ヘッドランプ(予備電池)、地図、筆記用具、救急薬品、(痛み止めスプレーなど)、健康保険証、ビニール袋、ちり紙(ロールペーパー)、予備靴紐、ライターかマッチ、ナイフ、ホイッスル、磁石、他

申し込みは 11月18日(金)までに

集合 11月20日(日)

JR新宿駅(11番線) 7:44発

ホリデー快速おくたま3号

(前から3両目) あきがわ号に乗らない

途中駅発

中野7:49 三鷹7:58 国分寺8:05

立川 8:11 西立川8:15 拝島8:27

福生 8:32 青梅8:43 (青梅線乗換)

8:57発 軍畑9:10着

交通費 新宿→軍畑 片道920円

●お申し込み・お問い合わせ

Tel・Fax/ 03-3521-6898 戸丸

戸丸携帯 090-4541-7066

携帯メール: satorutomaru@gmail.com

メール: tomarusatoru@hotmail.com

箱根組ホームページ

http://www.geocities.jp/hakonegumi1991/

を渡って落ち葉の道を進む。

ヒラタケのような美味しそうなキノコが生えている。広い車道に出る。

11時20分。右側に歴史のありそうな姥宮神社。(とめみや)と読むらしい。すぐ先左側「日本(やまと)の里」に到着。公の施設かと想像したが、全く違つて期待外れ、レストランとバーベキュー会場の私的な施設でした。ルートに戻る。11時43分、風布みかん山の看板に従つて車道を右側に登つてゆく。看板には一三軒のみかん園の名前が並んでいる。昼食会場を探しながらどんどん登つてゆく。峠のところまで登つてゆくと東屋と祠が現れる。

12時10分頃、聖観世音菩薩に到着。

ここで昼食。
キノコ汁と
持ち寄りの
豪華なメニュー。あまり
に美しいので写真撮影
した。

1時43
分、下山(?)
開始。みかん
畑を眺めなが
ら来た道



を戻って降りてゆく。登ってきたときに吠えていた犬がまた吠えている。

来るときにみかん狩りのノボリが立っていたので気になっていた、みかん山の一番下の「やまき園」で様子を聞くとなんとみかん狩りができるといふ。みんな大喜び。休憩所に荷物を置いてハサミと小さ目のビニール袋を持って、ご主人に案内されてみかん園に登つてゆく。

広い山の「この山すべてどこで食べても大丈夫です」との事。試食をして美味

しい木を探して収穫。試食と持ち帰りで600円は安いと思った。

あちこちで試食をしてビニール袋をいっぱいにして休憩所に戻る。お茶と自家製こんにやくの煮ものをいただいて休憩。こんにやくを煮る大きな釜が家の横に並んでいる。

梅干しとこんにやくのお土産もみんなが購入した。町の広報の方の取材にも協力し、写真も撮っていただいた。

農家の家の雰囲気も昭和に戻ったようにとても楽しい時間だった。

3時20分、名残惜しいがみかん園を出発。

3時33分、風の道歩道に入つてゆく。夫婦橋を渡り進んでゆく。

3時47分、いったん車道に突き当たる。右に曲がつてすぐにまた川沿いの遊歩道に戻る。沸飛石といくつかの飛び石で川を渡り返す。階段状の道を登り、また車道を横切。

4時7分、すぐに遊歩道に入る。松葉飛び石を越える。また上り坂を越える。

4時25分、夫婦滝。朝と違つて二つの滝がはつきりしている。水量が変わったようだ。鬼柚子をいただいて、駅に戻る。4時47分波久礼駅着。目の前の電車に乗ることができなかった。50分ほど待つて次の電車で東京に向かった。

